

結婚予備学校の序論

(創1:27)

序論：結婚予備学校に来られたことを心から歓迎します。

1) しかし、あまりに大きなことを期待してはなりません。

★ここでの講義は3つの観点です。

①聖書的観点から結婚を探り、

②他の家庭使役者達の書籍を考慮して、

③私個人の経験と考えも加えながら講義をします。

2) 結婚予備学校は皆さんの残っている人生を完全に変える機会です。

3) 結婚予備学校は皆さんの未来を設計する絶好の機会です。

4) 結婚予備学校は家系の問題を次世代に引き継がせないように、改めて作業する神様の癒しです。

5) 結婚予備学校は命の奥義を確実に悟らせて次世代を生かす機会です。

1. 結婚予備学校をする理由

1) 結婚の重要性とその価値を新たに認識する為

2) 結婚に対する神様の計画と御心を対処することを助ける為

3) 結婚に対する様々な情報と結婚後の夫婦の葛藤を知恵を持って対処する為

4) 私個人がこれを正しく知らないまま結婚してあまりにも苦勞したのが恨みになった為

2. 大部分の人々は青年期より思春期（青少年期）をもっと重要に思う。

では、なぜ青年期が重要なのでしょうか？

1) 人生の配偶者と出会う時期だからです。

2) 家庭を成し遂げる非常に重要な時期だからです。

3) より重要なことは子供を産む時期だからです。

3. 危険な結婚

1) 父母の影響から逃れる為に結婚をすることは危険です。

2) 経済的圧迫と瞬間的な感情によって結婚を決定するのも危険です。

3) 寂しさを慰める為、下手に結婚を決定してはなりません。

4) 計算的な結婚

4. 結婚の秘密は大きく3つです。

1) 神様が巡り会わせた人と出会うこと

①家庭を成し遂げる ②幸せな生き方を生きること

2) 命と次世代に対する祝福を味わうことが結婚です。

3) 世界福音化と共に成し遂げる為、結婚の祝福が与えられたのです。

結論：

1) 青年の時に最高の霊観が開いた人は誰なのか？結婚予備学校に来られた皆さんです。

2) これから神様が遣った家庭制度の最高の恵みを受ける人は誰なのか？まさに皆さんです。

3) サムエルのようなレムナントを授かる祝福を受けた人は誰なのか？

結婚予備学校に来られた皆さんです。

結婚にゴールインするまで

(創1:27)

*ドイツのことわざ: “男の居ない女は櫓がない庭のようだ”

序論: 今日の講義は結婚を目の前においた青年達が意味深く聞かなければならない講義です。

題目がとても良い。“結婚にゴールインするまで”だ。

- 1) 大部分の相談者達と社会学者達は青年期より思春期をもっと重要に見ています。
- 2) ならば、なぜ私は思春期の時より青年期をもっと重要に見るのか? 話してみましょう。
- 3) ところで、残念なことは青年達の為の教育プログラムが無いことです。
- 4) そして、青年達自らも間違った考えを持っています。

1. 結婚前に知るべきこと

- 1) 多くの異性と出会うこと
- 2) デートは軽くすること
 - ①暗い所に行かないでください。
 - ②Pettingをしないでください。
- 3) 一言でデートする時は性的な関係を持つてはならない。

*私の性は、神様が私に巡り合わせてくださる人のために神様が与えてくださった。
ですから、その人に会うまで私が保護して守るべき責任がある。

2. 結婚は神様の御心です。

1) 神様の御心である理由

- ①創1:27 ②創2:18 ③創2:24 ④マタイ19:6

2) 結婚の秘密3つ

- ①神様が巡り合わせた人と出会うことが結婚です。
- ②結婚の秘密は命と次世代にあります。
- ③世界福音化を共に成し遂げる為に、私たちに結婚の祝福が与えられたのです。

3) 結婚の為に祈るべき理由

- ①箴18:22 “良い妻を見つける者はしあわせを見つけ、主からの恵みをいただく。”
- ②箴19:14 “家と財産とは先祖から受け継ぐもの。思慮深い妻は主からのもの。”
- 4) すでに結婚した方達に宣布する。

3. 結婚の意味

- 1) 霊的に連合すること
- 2) 精神的連合が結婚です。
- 3) 肉体的連合: 一つの体

4. 結婚に対するイエス様の教訓

- 1) 補完性
- 2) 一体性
- 3) 連合性
- 4) 神聖性
- 5) 永遠性

5. 結婚にゴールインするまで

- 1) 祈ることが重要です。
- 2) 気に入った異性が居れば積極的にアタックしなさい。
- 3) 必ず結婚に対する答えを受けて結婚しなさい。

結論: 備えられた結婚は幸せを極大化させる。

- 1) 霊的に良く備えて
- 2) 精神的によく備えて
- 3) 生活的によく備えるべきです。

結婚前に必ず癒されること：劣等感

(ルカ 15 : 4-6)

序論：癒されるためには3つを上手くしなければならない。

- 1) 自分の問題を発見すること
- 2) 問題を現すこと
- 3) 打ち明ける

*できれば、完璧主義者として見せようとしなくて下さい。これは、自分を殺すことだ。

今日、劣等感に対してお話したいと思います。

1. 劣等感が生じる理由

- 1) 元々、人間は劣等感のある存在ではない。

- 2) 劣等感は間違った比較から生じる。

- 3) 十分に愛されていない時、劣等感が生じる。

*人が愛を十分に受けなかった場合、人間関係ができない。

- 4) 身体的な条件(外見)によっても劣等感が生じる。

- ①障がい者の場合
- ②身長の高さ

- ③太っている体
- ④身長の高さ

- ⑤顔に対する劣等感のために整形手術をする。
- ⑥知識に対する劣等感

- 5) 環境から来る劣等感もある。

- 6) 度を超えた欲と動機のために劣等感が生じる場合もある。

- 7) 度を超えた優越意識も劣等感から生じたと見ることができます。

2. 全ての人には劣等感がある。

- 1) 私達は罪人だ。

- 2) 私達は全てのことを備えた完全な者ではない。

- 3) 人が持っている劣等感が大きな罪を生む場合もある。

- ①エバが善悪を知る実を食べた理由
- ②カインがアベルを殺した理由

- ③ヨセフの兄達がヨセフを売った理由

- 4) しかし、私達は劣等感を聖化させ成功の土台とすべきです。

3. 今日、皆さんが持っている劣等感があるならば、本当に癒される時間になることを願います。

- 1) 劣等感が多い人は何をしても気付かれる。

- 2) ルカ 15 : 4-6 私達、皆には劣等感があります。

ですから、イエス様は劣等な者に関心を持っておられます。

- 3) 神の子である私達は、“これ以上劣等な人ではない”ということです。

*自信感と確信を持って下さい。

結論：必ず記憶すること

- 1) ローマ 8 : 2 / 劣等感から私達も解放された。

- 2) ビリビ 4 : 13 / これだけ信じれば劣等感から解放

- 3) イザヤ 7 : 14 インマヌエル / 劣等感の永遠な解決の方法

結婚前に見るべき5つのこと

(創 2 : 1-4)

序論：

- 1) 人は家庭で生まれ家庭で死ぬ。

- 2) 世の中で一番難しい決定を下す時期はいつなのか？

- 3) 配偶者を選択する時、最も重要な瞬間はデートする時だ。

1. その人が持っている福音の色を見なければならない。

- 1) 人は霊的存在である。

- 2) 霊的に通じるということは、つまり福音が通じるという話である。

- 3) 信仰生活も通じなければならない。

2. その人の性格も見なければならない。

- 1) 性格とは何か？

- ①責任感が強い性格なのかを結婚前に見なければならない。

- ②否定的な性格なのか、未来志向的な性格なのかを知らなければならない。

- ③配慮と理解する心がどれほどなのかを知らなければならない。

- ④苦しい問題にぶつかった時、どこへ逃げる性格なのかを知らなければならない。

(ゲーム、お酒、ギャンブル等)

- 2) 性格を見るというのはその人が持っている特有な性質または品性が、

“私が耐えられる性質なのかを判断する”ということである。

- 3) 結婚前に考えるだけでなく、必ず相手の長点と短点を整理しておきなさい。

3. その人の生活態度も見なければならない。

- 1) 目がくらむ青年たちが多い。

- 2) 結婚以前には理解し、受容し、超越する言葉に気をつけて使わなければならない。

- 3) 生活態度の長点と短点も必ずチェックしなさい。

4. その人の専門性(未来)も見なければならない。

- 1) もうすでにこれは決定された後に会うのである。

- 2) 結婚は未来を共にすることである。

- 3) 専門性をどう助けるのかも考えて結婚しなければならない。

5. 神様が巡り会わせた人なのか？答えを得てから結婚しなければならない。

- 1) なぜ重要なメッセージを最後におくのでしょうか？

- 2) 祈りの中で必ず答えを受けなさい。

- 3) 親の許可を得なければならない。(創 24 : 1-4)

結婚は契約である
(マタイ 19:4-9)

序論：今多くの人々が私たちの社会を心配している。家庭が崩壊されているためである。
 それでは、家庭危機の主犯は誰なのか？夫婦（自分中心の考え方、間違った誤解等）
 今回の講義は“結婚は契約である”というタイトルで講義をしようとする。

1. 結婚は契約ではない。

1) 現代社会を契約社会としている。

- ①契約書を作成するという話は‘法的な拘束を持つ’という意味である。
- ②そして契約とは“あなたがこうしてくれたら私もこうしてあげる”ということである。

2) 結婚も法的に見ると一つの契約の形式を持っている。

- ①なぜなら二人の間に契約が立たされ ②責任感と権利が同時に持たされるためである。

3) 結婚が契約ではない理由

- ①契約は自分の利益を求める。 ②契約は法的拘束を背景とする

2. 結婚は契約である。

1) 神様と人が契約を結ぶはじめの場面が創 6:18 である。

- ①神様は自分の為に契約を結んだことではない。

- ②では、誰の為に契約を結んだのか？ノアの為である。

2) 聖書に見ると人と人が結ぶ契約が出てくるが、その契約の代表的な例として I サムエル 18:1-4 である。
 ここに見るとヨナタンとダビデが契約を結ぶ場面が出てくる。ヨナタンが契約を結んで最初にする行動が
 自分のものをダビデにあげることであった。ヨナタンは自分の上着と剣、弓、帯などをあげた。

なぜあげたのか？ヨナタンはダビデを純粋に愛していて好きだった。

何か理由があってダビデを好きになったわけではないことである。

3) 上記の二つの契約を通して私たちが契約の 5 つの特徴を得ることができる。

- ①契約は相手の有益のために結ぶことである。 ②契約は無条件的な約束である。
- ③契約の基礎は変わらない愛である。 ④契約は一回献身したら永遠に献身する。
- ⑤契約は正面で対面することと赦しを含める。

3. 結婚に対するイエス様の教訓も契約である。

1) 結婚に対するイエス様の御言葉 (マタイ 19:5-6)

2) ある人の質問 (7)

3) 質問に対するイエス様の答え (8-9)

4) 参考にする聖書御言葉：マラキ書 2:16

結論：聖書に戻ろう。

- 1) 結婚は契約である。
- 2) 結婚後に
- 3) 幸せはつくる人のものである。

聖書の結婚観
(創 2:18-24)

序論：結婚は人間の必要によって作られた制度ではなく神様が人間のために創造した聖なる制度である。
 よって結婚はただ私と配偶者の間で一つになる意味ではない。“私+キリスト+配偶者”としての、
 一つになることを意味する。よって私たちの夫婦関係は両者関係ではなく三者関係と言える。

1. 成功的な夫婦生活の特徴

ニック スチネット (Nick Stinnet et al.) 等が多様な人種と民族 6 千組を対象としたある実証研究によれば、
 成功的な結婚生活をしている夫婦達は信仰を含め共通的に次のような 6 つの特徴を持っていたという。
 (“9 年ぶりの幸せな結婚話”、NCD、2000)

- 1) 献身である
- 2) 認める
- 3) 肯定的な会話である
- 4) 二人だけの時間である
- 5) ストレスと危機対応能力である
- 6) しっかりした信仰である

2. 聖書との出会い (創 2:18-24)

1) 18 節によると神様がアダムのひとりであるのは良くないとし彼のために何をしたか？

“ふさわしい助け手をつくってあげた。”

ふさわしい助け手というのはヘブル語“エゼルクネグド”を翻訳した言葉で三つの意味がある。

① ‘エゼル’は‘助けるもの’という意味で主に神様の神聖的な助けを言及する時に使用する言葉である。
 よって女が男の助け手 (エゼル) と創造されたという意味は、夫にとって妻は神様の助けを媒介する
 通路になるという意味である。ですから、男は女が居なくては完全な人間として存在できない。

② ‘クネグド’には‘～と反対なる’という意味がある。なので‘助け手’というのは‘助ける反対者’と
 翻訳できる。この話は“もし男が尊敬を受けるに値するのであれば、彼の妻は‘助け手’ (エゼル) になる。
 もしそうでなければ、彼女は反対者 (クネグド) になるだろう”という意味である。

つまり夫婦は‘YES’と‘NO’の自己意思を明らかに話して選択する独立的で平等な存在という話である。

③ ‘クネグド’には‘～と向かい合う、同等である’という意味もある。

これを適用すると‘助け手’というのは‘同等である助け手’という意味で解釈できる。

つまり男女は同等であり、お互いに頼りあって助け合いながら生きるように創造された。

結局、助け手というのは“完全な対を成すためにお互いに助け合う同伴関係”を話す。

2) 21 節によると神様は女を“アダムのあばら骨”で造った。

聖 オーガスティン (Augustine) はこう話していた。

“女が男を支配することが神様の御心であつたらその方はアダムの頭を取って女を造ったでしょう。

女が男の僕となることが神様の御心であつたらその方はアダムの足を取って彼女を造ったでしょう。

しかし、女が男の助け手と同等である者になることが神様の御心だったので、その方は男のあばらの骨を取って女を造ったのです。”

3) 23節によるとアダムが女を見た瞬間どんな反応を見せたのか？“わたしの骨の骨、私の肉の肉”これは出会いによる喜びと愛の感激となる歓呼だった。

4) 24節に神様のとも司式者の祝辞に結婚の原理が出てくる。何でしょうか？

“離れ → 連合 → 一体”

①離れの原理：この話は親との関係を切って親に対する子供としての義務をあきらめるという意味ではない。

この部分に対してシムスミョン牧師は“真の一体を立てるための夫婦治療”という本で三つのことを説明した。

一番目：情緒的の離れ

二番目：関係的の離れ

三番目：経済的の離れ

②連合の原理：結婚は“親から完全な離れを果たした‘一人きりで立った二人’の出会いで結合である。”

この時連合という言葉は‘にかわで貼る、接着させる、しっかりくっ付ける、のりで貼る。’という意味である。これは契約を指したりしている。つまりどんな場合でも取り消せない神様との契約である。

③一体の原理：これは人間自ら一体になることではなく、神様が一体とさせてくださったという話である。

ですからイエス様も“神が合わせられたものを、人は離してはならない”(マタイ19:6)と仰せられた。

そして、一体は完成形ではなく進行形である。

つまりお互いの弱点を補完しながら一体を完成していきなさいということである。

3. 聖書的結婚観に対する主題研究

1) 結婚の意味

①結婚は神様の計画の実現である。(創2:18)

②結婚は肉体的、精神的、霊的連合を意味する。(創2:24)

③結婚は十分な愛の表現を意味する。(エペソ5:28)

④結婚は肉体的、霊的再生産を意味する。(創1:28)

⑤結婚は最終的に神様の栄光を現すことを意味する。(エペソ5:25-27)

2) 結婚の目的

①連合を果たすためである。

②完成を果たすためである。

③祝福の継承を果たすためである。

④神様の国を具現するためである。

3) 結婚に対する願った期待

ソクラテスは結婚に対してこう話していた。“とにかく結婚をしてください。良い妻に出会えばよいこと、悪い妻に出会えば彼女のお陰で哲学者になるのだから。”

①結婚したら幸せであって、してなかったら不幸な人になるだろう(？)

②結婚したらたくさん愛されてとても楽しいだろう(？)

③結婚したら同じ心、同じビジョンで生活の絵を描けるだろう(？)

④結婚後配偶者の行動を私が願うままに変化させるだろう(？)

ポールツルニエ(Pall Tournier)は、結婚生活は次のような三つの段階の周期を経ると説明した。

一番目：結婚初期は〔蜜月段階〕である。

二番目：〔現実と直面する段階〕である。

三番目：〔受容の段階〕である。

・放棄形 → あきらめて暮らす。

・体面形 → 他人が見るには恥ずかしいのでただ暮らす。

・責任形 → 子供の責任を取るために暮らす。

⑤多くの計算と優れた外見、良い学歴を持った配偶者と結婚したら幸せになるだろう(？)

結論：神様が巡り会せてくださった人に出会えるように祈りなさい。

1) 青年の時期に異性と結婚に対する本をたくさん読みなさい。

2) 青年の時期に財テク関連図書をたくさん読みなさい。

3) 青年の時期に胎教に関する本をたくさん読みなさい。

序論：上の題目はすでに結婚した方の為にする講義です。

まず質問します。結婚した皆さん、幸せでしょうか？生活は少し良くなりましたか？

★ピース ケンケル（心理学者）の言葉“相手が変われることを期待したある夫婦の葛藤は解決できない。私の理解と愛だけが氷を溶かす。”

1. 私達の中の何が夫婦けんかの原因になるのか？成人子供の為です。

では、成人子供の特徴とは何でしょうか？

- 1) 何でも自分の思い通りにしようとする。
- 2) 自分の度を越えた欲の為に争う。
- 3) よくすねる。
- 4) 他人のせいにする。
- 5) 人間関係が上手くできない。

2. 夫婦けんかの異なる5つの原因

- 1) 性格の差：率直にいうと、正確の差がない夫婦は地球にいない。
- 2) 経済の問題：重要な問題ですが、十分に乗り越えることができる。
- 3) 親族、姻戚の問題：姑と嫁の葛藤、そして妻の実家との葛藤も考えによって変わることができる。
- 4) 宗教の問題：深刻な問題であることは間違いない。しかし、真な福音を持った人には問題にならない。
 - ①結婚は霊的な連合だ。
 - ②結婚は精神的な連合だ。
- 5) SEXの問題：重要な問題ですから、最善を尽くすべきです。
 - ①結婚は肉体的な連合です。ですから、SEXも重要です。
 - ②SEXは神様の計画です。
 - ③SEXを通して性的な欲を味わうべきです。

3. 幸せな夫婦生活の為に必須的なこと

- 1) 結婚に対するイエス様の教訓を心に収めるべきです。(マタイ19:4-6)
 - ①補完性：男性が足りない女性で満たして、女性が足りない男性で満たしてあげるべきです。(200%)
 - ②一体性：“ふたりは一体となるのである”と仰せられた。
 - ③連合性：“妻と結び合い”と仰せられた。
 - ④神聖性：“神様が結び合わせた”
 - ⑤永遠性：“人は引き離せない”と仰せられた。

2) 人間的な努力

- ①互いに理解しなさい。
 - ②互いに支持して参加しなさい。
 - ③対話で全てを解けなさい。
 - ④互いに必要を満たす為に努力しなさい。
- 3) 幸せはつくる者のものです。

結論：こういう家庭をつくってください。

- 1) 家庭の基礎：イエス・キリスト
- 2) 家庭の屋根：神様
- 3) 家庭の2つの柱：夫婦(エペソ5:25-28)
 - ①夫は妻を愛するべきです。
 - ②妻は夫に従うべきです。
- 4) 家庭の窓：理解
 - ①5-3=2
 - ②2+2=4
- 5) 家庭の基準：御言葉
- 6) 家庭の空気：聖霊充滿

夫婦の性
(雅歌5:10-16)

序論：人間には基本的に欲がある。

- 1) 食欲
- 2) 金欲
- 3) 名誉欲
- 4) 性欲

今日の講義の課題は夫婦の性です。夫婦に対する正しい理解から始めるべきです。

1. 夫婦は何ですか？

- 1) 神様が巡り会わせた人です。(マタイ19:6)
- 2) 最高の愛を与えて受けた関係 (創2:23)
- 3) 最後まで理解し最後まで保護するべきです。

※ソクラテス“心配しないで結婚しなさい。もし良い妻と出会えば幸せになり、悪い妻と出会えば私のような哲学者になるからです。”

※夫婦喧嘩をする時、気をつけるべきことがあります。

- ①人格的な侮辱をしてはなりません。(致命的な言葉と行動をやめなさい)
- ②相手の家庭に対する悪口はやめなさい。
- ③過去のことを探り出してはならない。
- ④言葉尻をつかんで問い詰めてはならない。
- ⑤適切な線で譲って和解しなさい。

なぜでしょうか？神様が巡り会わせた人だからです。

明日の朝になるとまた一緒に食事をしなければならない人だからです。

ですから、適切な線で譲って和解することがよいのです。

4) 死ぬまで愛して共に行かなければならない人です。

2. 夫婦が共に味わう最高の祝福は性です。

- 1) 性欲を与えた方は神様です。
 - 2) 性は夫婦だけに与えた神様の祝福です。ですから、“結婚”を通してのみ味わうことです。
 - 3) 対話で性の問題を解いていきなさい。
 - ①この問題は夫婦で共に解けなければ、孤独な夫婦になるからです。
 - ②よって対話でどのような生活を望むのか、または性生活をする時に何を望むのかを互いに言わなければなりません。
 - ③夫婦の性は互いが互いに与えることです。
- ですから、性を指して結合 (Unity) と分かち合い (Share) と言う。

ある人の言葉“性は人生の幸せを左右する”と言った。これは間違った言葉ではないと思います。

4) 性に対する夫婦の姿勢

- ①以心
- ②伝心
- ③持続

質問?) 聖書的に見る時、一夫一妻が正しいのか？一夫多妻が正しいのか？

3. 性の危機は家族崩壊につながる

1) Sexless という言葉がある。

2) Sexless の原因

- ①多過ぎるストレスによって性機能が低下
- ②共働きなどで忙しく時間がない
- ③倦怠期に入るから
- ④配偶者の浮気
- ⑤性を怒りの道具として使うから
- ⑥Loveless が主な原因です。

3) 本当の問題は他の性的パートナーが居るからかもしれません。

4) 夫婦達の為の提言：寝る時、3つの中の1つをしなさい

- ①手をつないで寝る
- ②抱き合って寝る
- ③重なり合って寝る

結論：

1) 夫婦達にお願いすること

- ①性を思いっきり楽しみなさい
- ②可能なら40代の夫婦達は、週に1回は性生活をするように
- ③最高のサービスを提供しなさい

2) 未婚者達にお願いすること

- ①結婚前まで性を守りなさい。瞬間的な喜びはサタンが与えることです。
- ②神様が巡り会わせた人の為、節制しなければならない。
- ③節制することができないのなら、早く結婚しなさい (Ⅱコリント7:9)

3) すでに性の経験がある人達にお願いすること

- ①悔い改めなさい。悔い改める時、私達の人格が変化するからです。
- ②二度と罪を犯してはならない (ヨハネ8:11)

幸せな夫婦生活を通し、神様が与えた家庭を守ることを願います。

サムエルを産む方法
(1サムエル1:1-11、19-20)

序論：質問

- 1) 一番大きい呪いは何だと思いますか？
- 2) 一番大きい祝福は何だと思いますか？
- 3) すると、私がどのような親になり、どのような子供を産むのが非常に重要です。

- ①両親が準備されるべきです。(準備された父と母)
- ②福音で武装した両親、人格が成熟された両親
- ③規律がある両親、生き方が模範になる両親にならなければなりません。

1. 神様は奥義を知る者に大きな祝福で働きます。

- 1) 救いの中にどれ程大きな祝福があるのかを知らなければ、教われたのにも関わらず祝福を全て逃す。
- 2) 祈りの答えを正しく知らなければ祈りもできず、その祝福も味わうことができない。
 - ①エレミヤ33:3 “わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。”と仰せられた。ならば、私達は叫べば良いのです。
 - ②ヨハネ14:14 “あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう。”と仰せられた。求めればよいのです。すると、神様の祝福を得ます。
 - ③ヨハネ15:7 “あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。”と仰せられた。すると、私達は主の中に留まりながら、望むことを求めればよいのです。

3) 伝道の中に神様の全ての祝福が隠されていることを知れば、伝道者の生き方を生きる。

- ①マルコ3:13-15
- ②マタイ28:19-20
- ③使1:8

2. その通りなら私達は結婚の奥義を知るべきです。結婚の奥義は命(次世代)にある。

- 1) 創1:27-28を正しく知らないようです。
 - ①増えよ、征服、充滿、地を満たせには欲が多いが、その始まりを知らないようです。
 - ②増えよ、征服、充滿、地を満たせ以前に生めよが先です。しかし、生めよには関心がなく、増えよ、征服、充滿、地を満たせだけに関心を持っています。始まりが間違ったからです。
- 2) “種”の重要性和命の中にある神秘を知らなければ、レムナント運動を知らないことです。
- 3) 無知な両親のもとで時代的な子供が産まれるのは不可能です。

3. サムエルを産む方法

- 1) とりあえず結婚しなければならない(：2)
 - ①誰でもいいからと結婚してはならない、レビの男とレビの女が結婚しなければならない。
 - ②神様が巡り会わせた人と出会わなければなりません。
- *結婚前の性生活を通して生まれた子供は、時代的な子供になれません。

2) 正しい礼拝生活が重要です。(：3-7)

- ①毎年、礼拝、産まれる命の為に朝拝会を区別して捧げてみなさい。
しかし、このような新婚夫婦はほぼいない、なぜならば命の奥義をよく知らないからです。
- ②献げ物を倍に捧げて、産まれる命の為に先に感謝献金をしなさい。この献金は命の為に献金です。
- 3) 命を身ごもることに対する切な祈りがあるべきです。(：10)

★計画された妊娠であり、策定された妊娠でなければなりません。

- 4) 誓願な祈りがありました。(：11)
“万軍の主よ。もし、あなたが、はしための悩みを顧みて、私を心に留め、このはしめを忘れず、このはしめに男の子を授けてくださいますなら、私はその子の一生を主におささげします。
そして、その子の頭に、かみそりを当てません。”

この御言葉は、主のしもべにさせると言う意味ではない。

- ①神様が与えた命に感謝し、
- ②神様が願う人として育てますと言う、誓願の祈りがなければならない。

5) 切な祈りの後に、夫と同寝した。(：19)

4. 命じなさい

- 1) 性生活の2, 3ヶ月前から区別された生活をしなさい。なぜなら、今日受精される精子はすでに夫の体の中で2, 3ヶ月前につくられたからです。

- ①2, 3ヶ月前から聖霊充滿
- ②2, 3ヶ月前から良い考え
- ③2, 3ヶ月前から栄養がある食べ物 ④区別された生活をしなければならない

2) 幸せな性生活をしなさい

- ①最高の愛を分かち合いなさい
- ②最高の愛を分かち合う前に、最高の準備をしなければなりません。
(霊的状态、心の状態、健康状態、天気も重要)

3) 妊娠した時、最高の霊的、精神的安定を保ちなさい。これが胎、嬰兒教育です。この時、全ての子供の健康が決定されると見るべきであり、ママとパパの関係がよくないことは胎児がもっとよく知っています。

★ママとパパの関係が良ければ、胎児がお腹の中で蹴っ飛ばしながら遊びます。

しかし、夫婦喧嘩をする時には、胎児は委縮され全然動きません。

4) 未来を備える為に、先に教育をさせるべきです。

- ①聖書の話
- ②教会の話
- ③社会の話

パパと共に、聖書教育はもちろんで、社会教育も先にさせるのです。

5) 産まれた後、完全に神様中心で捧げましょう。

6) 良い環境と、良い教育をさせることも忘れてはなりません。

結論：青年の時からサムエルを産む為の準備をしなければなりません。

特別講義2

「契約的なデート」

マタイの福音書6:33 .だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

1.デートは?

- 1)結婚ではない。
- 2)時間の無駄だと考えてはならない。
- 3)相手をもてなしたいほど、もてなす時間だ。
- 4)人格的に成熟で多くの人々を経験できる新しい学びの実習の場だ。

2.未信者とのデート

- 1)私の信仰のアイデンティティと相手に対して悟ることが出来る重要な現場
- 2)正確な福音提示と知恵のあるフォーラムが必要。
- 3)禁じなければならないこと
 - ①配偶者を見つけるためにデートをする場合
 - ②未信者を愛しそうな危険に置かれている場合
 - ③深刻な寂しさに落ちいった場合
 - ④性的な欲求を制御することが出来ない場合

3.デートをする時、肝に銘じて置かなければならないこと

- 1)'タイプ'に固執してはならない。
- 2)様々な類型の人に会って見なさい。
- 3)同役者に助けを求めなさい。(伝道者の書4:9~10)
- 4)必要な言葉、必要ではない言葉を見分けなさい。
- 5)一目ぼれする愛を忘れなさい。(創世記6:2) 外見的魅力は賞味期間がある。
- 6)誰でも一度は会うこと、二度目の出会いも断ってはならない。
- 7)第一印象、外見に騙されず内面を見ることが出来る目を開いてくださいと求めなさい。
- 8)きれいな人よりきれいに話す人に出会いなさい。
- 9)別れることを恐れるな。
- 10)警戒して尊重するべきことを求めなさい。
- 11)性的な欲求を良く統制しなさい。
- 12)感情に没入してしまうと聖霊の導きを逃してしまう。

4.契約的デートの点検

- 1)お互いの霊的問題を理解して助けているのか?
- 2)お互いの霊的家系の家系図を描いてみてフォーラムしているか?
- 3)私をより成長させているか?(霊, 肉, 精神)
- 4)世界福音化と後代に向けた祈り、伝道、現場、フォーラムできているのか?
- 5)片方の信仰が弱かったり、未信者の家系である場合、霊的戦いをする姿勢になっているのか?
- 6)見えない信仰より見える条件に縛られていないか?

結論：契約的なデートをしたいのなら?(マタイ6:33)

特別講義 1

「福音で Oneness される家族関係」(創世記 2:18-25、ルツ 1:16-17、エペソ 6:1-4)

序論

- ・家庭をくださった理由？
- ・日本と韓国家族関係の違い？
- 日本—配慮（消極的）、情が無い、連絡をあまりしない。嫁はお客様
- 韓国—干渉（積極的）、情が多い、連絡をよくする。婿はお客様、嫁は当然働く人

1. 福音で Oneness される夫婦関係

- 1) モーセとチッボラ (出エジプト4:25)
2) プリスカ夫婦 (使18:1-4、ローマ16:3-4)
** 嘘で Oneness-アナニヤとサツピラ夫婦 (使5:1-11)

2. 福音で Oneness される姑と嫁関係

—ナオミとルツ (ルツ 1 : 16-17)

3. 福音で Oneness される翼と煙

—イテロとモーセ（出エジプト18：8-27）

①御言葉フォーラム ②千人隊長、100人隊長、50人隊長、10人隊長

4. 福音で Oneness される兄弟姉妹

—モーセ、アロン、ミリアム（出エジプトの働きの一チーム）

(出エジプト 2 : 1-8 モーセを王女に紹介、出エジプト 1 : 7 モーセの代言者、
出エジプト 15 : 19-21 出エジプトの後、ミリアムの賛美)

5. 福音で Oneness される両親と子供

- 1) ヤコブとヨセフ (創世記 37 : 11)
- 2) ハンナとサムエル (1サムエル 2 : 27-28)
- 3) ダビデとエッサイ (1サムエル 17 : 18 しるし)

6. 福音で Oneness される親戚

- 1) アブラハムとロト
(創世記 13 : 14 不信仰の要素を隠す、創世記 14 : 14-16 危機に陥った甥ロトを助ける)
- 2) エリサベツとマリヤ (ルカ 1 : 56 三カ月の間共にフォーラム)

結論、福音で Oneness される家族関係になるためには？

1. 契約をにぎった一人
(ラハブーヨシュア 2 : 1、ヨシュア 6 : 22-23、ヨシュア 11 : 31、マタイ 1 : 5)
**反対ーアカン (ヨシュア 7 章)
2. 家系を生かす宣教師 (考え、目、言葉)
**そしりーアロンとミリアム (民 12 : 1-6)、ハムー (創世記 9 : 18-27)
3. とりなし祈り (創世記 18 : 22-23)
4. 家族、親戚、人間関係に最善を尽くしなさい。

特別講義 2

「福音的な結婚礼拝文化」 (ヨハネ 2: 1-11)

1. 結婚礼拝の意味

- 1) 神様にささげる真の礼拝回復
- 2) 来賓者—結婚を通して神様の栄光を見て、未信者も恵みを受ける結婚礼拝となるようにするべき。

2. 結婚キャンプに対する祈りの課題を正しくにぎるべき

- 1) 両家に受け継がれた霊的讀りを完全に切る結婚
例え) 無知、無氣力、貧しさ、病、淫乱、アルコール、自殺、離婚など…
- 2) M.Hの祝福がなされ後代を生かす家庭
- 3) 一生にぎるべきビジョン、メッセージが宣布される結婚
- 4) お互いにキリストの中で真実に助ける配偶者となるように

3. 結婚礼拝の順序と意味

- 1) 開式辞(結婚礼拝の始まりを宣布)ー誓約者達を入場させるため。
- * 2) 両家両親入場ー両親世代から子どもの世代へと移転させる意味。両親も誓約の対象
- 3) 新郎新婦入場(両家両親と新郎新婦の入場をする賛美と演奏)
- 4) 説教者の結婚礼拝祈り(または、新郎新婦が仕えている牧師)
- 5) 一生客えられる新しい家庭に対するメッセージ宣布
 - ①使命者である場合
 - ②未信家族、親戚ー受け入れメッセージ
- * 6) 両親誓約(創世記2:24に基づき子どもを神様の御前に独立させ、祈りの後見者となることを誓うー両家が信じる両親である場合)
- 7) 新郎新婦誓約及び祝福祈りー神様の御前と人の前で契約の不変性(取り消しや妥協できない)
- 8) 成婚公布ー独立された子どもに御言葉に基づいて夫婦になったことを宣布(私的の意味ではない公的な意味)
- * 9) 指輪交換ー永遠な契約的誓約記念
- 10) 感謝の賛美または祝賀
 - ①新郎新婦が神様に感謝の賛美ー一生のビジョンが込められた賛美
 - ②祝賀ー新郎新婦を祝福する意味ではない: 神様に栄光を捧げる賛美にならないといけない。
- 11) 祝祷
- 12) 挨拶ー両親と来賓の方に
- 13) 新しい家庭に出発(行進)ー新郎新婦が左右にいる来賓者の間を通るー契約確証
- * 2)、6)、9) 必ず入らなければならない順序ではない。

※都合、与件によって追加してもよい順序

- 1) 結婚映像、写真を編集して、ビジョン折りの課題を心に抱くように
- 2) 両家両親に手紙を朗読(お互いの両親に)